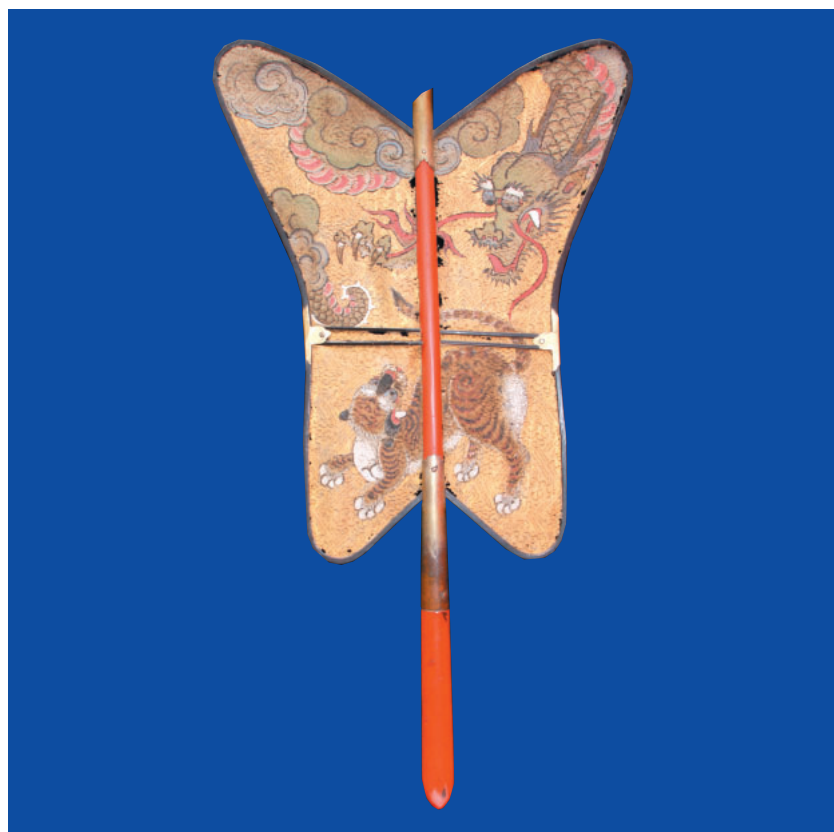


平成21年（2009年）秋季特別展

北摂の戦国時代

平成21（2009）年10月10日（土）～11月29日（日）



顕如の軍扇（天満定専坊所蔵）

この軍扇は本願寺第11世顕如（1543～92）が使用したものと伝えられています。顕如は、本願寺への矢銭の賦課や本拠地石山からの退去を命じた織田信長と対立し、伊勢長島・近江・越前・加賀・紀伊など各地で一向衆門徒を蜂起させ、信長と11年にわたり戦いました。これを世に石山合戦といいます。軍扇は戦陣において味方を指揮するために用いられるもので、顕如も、たび重なる合戦においてこれを用い、戦場で門徒を鼓舞し、志気を高めたことでしょう。

この龍と虎が対峙する勇猛な図柄の軍扇を伝来してきた定専坊は、もと摂津国西成郡三番（現大阪市東淀川区）にあり、本願寺のなかでも有力寺院で摂津での布教の一拠点でした。吹田市域では、光明寺、浄光寺などが定専坊の下寺となっていました。

吹田市制施行70周年プレ事業 秋季特別展「北摂の戦国時代」

会期 平成21年10月10日(土)～11月29日(日)

「北摂の戦国時代」展は、北摂地域に展開した戦乱の様相を池田氏・吹田氏ら国人や一向門徒の活動を中心にたどっていきます。

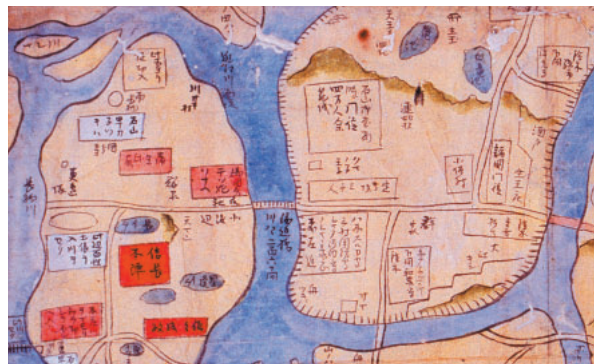
応仁元年(1467)、^{はたけやまさなが}畠山政長と^{よしなり}畠山義就の家督争いに端を発し、^{かんれいほそかわかつもと}管領細川勝元と^{やまなそう}山名宗全(持豊)の介入、さらに^{しば}斯波氏や足利將軍家の家督争いがからんで、11年におよぶ内乱に拡大しました。この応仁の乱を契機に戦国の^{げこくじょう}下克上の時代となり、地方では勢力を伸張し^{たいとう}台頭してきた守護代や^{こくじん}国人領主層らも中央の合戦に参戦しました。北摂の国人たちもまた、これらの戦に^{いくさ}軍勢を率いて参戦しました。

村落においては、村落運営の自治自衛をめ



荒木村重 (伊丹市立博物館蔵)

ざす農民たちの活動が活発となり、惣村を形成していきました。本願寺第8世^{れんによ}蓮如は、京都山科本願寺や摂津石山御坊を拠点に布教活動を行い、惣村の指導者を門徒化し村人に布教させることで、^{じょうどしんしゅう}浄土真宗(一向宗)の門徒を畿内に飛躍的に増やしました。門徒は、大名などの支配勢力に抵抗して各地で一向一揆を起こし、強大な勢力になっていきました。本願寺へ^{やせん}矢銭や石山からの退去を命じた^{おだ}織田信長に対し、本願寺第11世^{けんによ}顕如は、信長と敵対する諸大名らと手を結び、石山本願寺を拠



石山合戦配陣図 (大阪城天守閣蔵)

点に11年にわたって石山合戦をくりひろげました。

吹田を本拠とした国人吹田氏は、時の権力者たちからたびたび侵攻を受けながらも勢力の維持をはかりました。しかし、たび重なる戦いで滅亡の危機にあい、吹田因幡の娘は荒木村重の弟村氏を婿に迎え吹田氏の存続をはかりました。ところが、吹田村氏は兄村重の信長への謀反に味方して敗れ、天正7年(1576)京で一族皆処刑され、吹田氏は滅亡しました。以後吹田氏を名乗る人物は史料上に現れなくなります。

この展示を通じ、中世動乱期の北摂に生きた人々の活動に思いを馳せていただきたいと思います。

なお、この展示は、北大阪ミュージアムネットワーク加盟館である池田市立歴史民俗資料館、高槻市立しろあと歴史館と当館とが協力して、移動展と共同展のスタイルをとりつつ、充実した内容の展示を提供いたします。

(池田直子)

吹田市立博物館

休館日／月曜と祝日の翌日

(10月12日、11月23日は開館)

観覧料／大人200円(160円) 高・大学生100円(80円)

小・中学生50円(40円)

* () 内は20名以上の団体割引料金

* 無料観覧日／10月10日と11月14日(土)

・15日(日)(関西文化の日)

高槻市立しろあと歴史館 平成21年秋季特別展「北摂の戦国時代 高山右近」

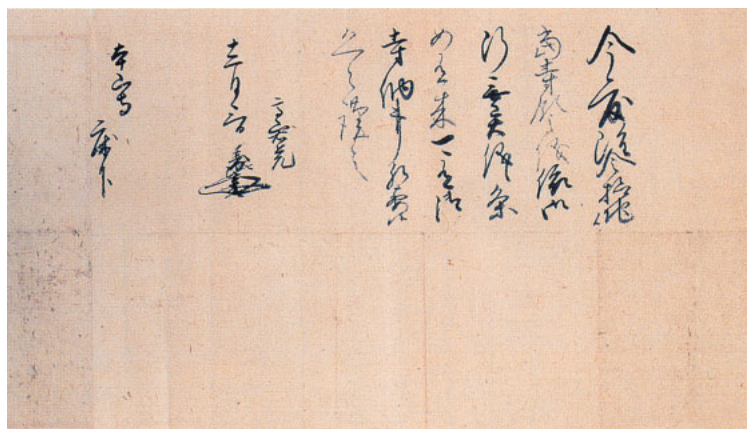
会期 10月10日(土)～11月29日(日) ※会期内に一部展示替を行います

戦国時代の高槻城主・高山右近は、日本史上傑出したキリシタン大名であり、遠くヨーロッパにも名が知られた国際人です。海外の文物に通じ、茶の湯に長け、築城にも才を発揮したといえます。

右近の父祖は、北摂・能勢の高山（今の豊能町高山）という山あいの荘園代官から身を起こしました。そして、父である高山飛騨守が三好長慶に仕え、歴史の表舞台へ登場。やがて右近は織田信長、豊臣秀吉の下で大名となりました。高山一族の歴史は、北摂の戦国時代を見事に映し出しています。

高槻を代表する歴史的人物・高山右近に焦点をあてる本展では、西洋との交流が始まり、キリスト教や鉄砲などの新しい文物が取り入れられた天下統一期の社会と文化を紹介。そして、織田信長や中川清秀、和田一族、豊臣秀吉ら右近をめぐる人々とともに、右近が行った支配や参加した戦争の経歴などを取り上げ、その歩みを確認します。

(高槻市立しろあと歴史館 中西裕樹)



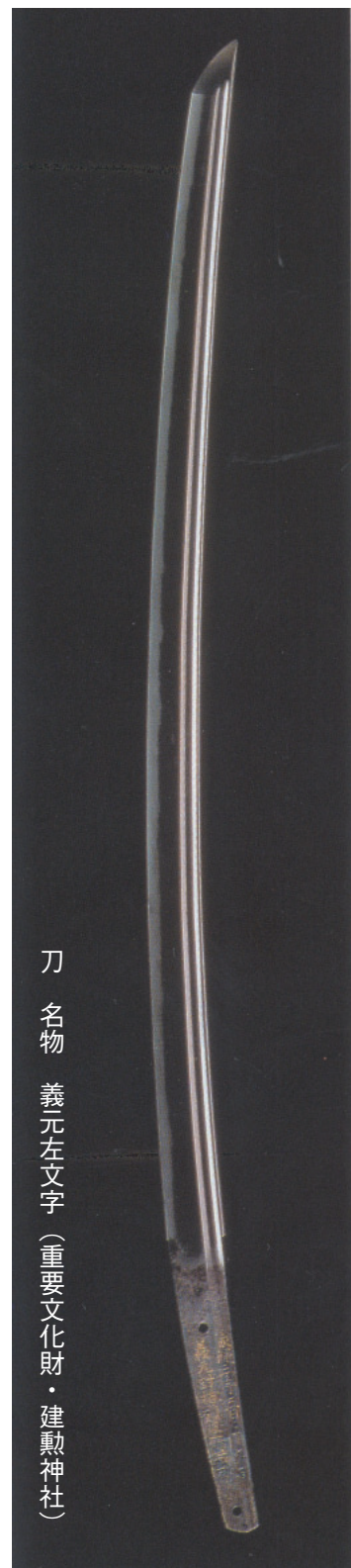
高山右近允書状（高槻市指定文化財・本山寺蔵）

主な展示品

イエズス会の紋章が入った七宝繫蒔絵螺鈿聖餅箱（府指定文化財）
隠れキリシタンが伝えたマリア十五玄義図（府指定文化財）
二支十字が描かれたキリシタンの木棺 ほか

高槻市立しろあと歴史館

休館日：月曜日（祝日は開館）、祝日の翌日
観覧料：大人200円／小中学生100円
住 所：〒569-0075 高槻市城内町1番7号
TEL：072-673-3987 FAX：072-673-3984
交通アクセス：阪急高槻市駅より南へ徒歩約10分
JR高槻駅より南東へ徒歩約15分



刀 名物 義元左文字（重要文化財・建勲神社）

三好から信長、秀吉、家康と渡り、北摂の戦国時代を見つめてきた天下人の刀。

平成21年(2009年)度

実験展示「さわる 五感の挑戦 PARTⅣ」

平成21年 9月12日(土)～10月4日(日)

誰もが楽しめるバリアフリー展示を目指して始まった「さわる 五感の挑戦」も今年度で4回目を数えます。この展示は、感覚器官や運動機能を活用して資料を鑑賞しようというもので、昔ながらの玩具で遊んだり、和楽器を演奏したり、仏像や考古遺物のレプリカを触って形態の特徴を読みとるなど、楽しみながら資料に親しんでもらっています。

昨年度は会期中に視覚障がい者の方を対象とした2つの取り組みがありました。1つは、市内の音訳グループ「とも」と協働したプログラムで、「とも」の利用者から参加者を募り、京都市右京区嵯峨にある愛宕念仏寺を探訪したことです。愛宕念仏寺は、当館の初代館長西村公朝氏が住職を務めていた天台宗の寺院で、境内には西村氏が造立したブロンズの「ふれ愛観音像」をはじめ、石のお釈迦さまやブロンズの虚空蔵菩薩像など多くの触れる仏像が祀られています。また音階の



土器作り講座

異なる三つの鐘で「仏・法・僧」を表した「三宝の鐘」や、一般の方々が彫った1200鉢の石の羅漢さんが境内を所狭しと並んでいます。参加した方々はそれぞれに、仏像の造形から仏の心と形を感じ取っているようでした。

もう1つは、「縄文土器づくりに挑戦!」の体験講座です。これは、滋賀県立陶芸の森の「世界にひとつの宝物づくり実行委員会」が行っている出張講座で、陶芸家の宮本ルリ子さんの指導で行われました。参加者は、本展示のアドバイザーである国立民族学博物館の広瀬浩二郎先生の呼びかけで集まった方々で、力一杯粘土をこね、思い思いに土器の形を作り上げていきました。手探りで悪戦苦闘しながらも、宮本さんの丁寧なリードとアドバイスに助けられ、オリジナルの見事な縄文土器を完成させました。

今年はあらたな取り組みとして嗅覚にスポットをあて香道体験を予定しています。嗅覚を通じて日本の伝統文化に親しんでもらいたいと思っています。

(滝沢幸恵)



愛宕念仏寺見学会

香りと臭い - 東洋医学の感性 -

十四世鍼医師 藤本蓮風

東洋医学は五官を極めて大事にする。客観を踏まえて主観を包み込むからだ。

患者が訴える情報は極めて主観的だ。昨日はあっちで、今日はこっちが辛い、という。でもこれこそが命の叫びである。対応は、感性が必要となる。だから、三千年の時を経て未だ健在である。

さまざまな患者の個性と病の移ろいが鼻を通じてわかる。

肝臓や腎臓の病の変化は嗅覚こそが頼りとなる。老人臭は、樹木が枯れるように水分が欠乏し、相対的に熱を生じる。「陰虚内熱」という。これがあらゆる邪気を炙り出し、特有の臭いを発する。

多くの女性はオーデコロンを身に纏う。柑橘系が多い。香り高さは女性故の繊細な感覚による戸惑いを大いに鎮めてくれる。「気」をめぐらす大切な香りである。接する人にも好感を与えるのだ。



香りの日本文化

近年、アロマテラピーやフレバリー・ティーなど香りの効能が注目され、人気を集めています。日本では、古くより香りの文化を育んできました。飛鳥時代より仏教寺院では仏前でお香を焚き、香木の浄化作用で神聖な空間作りをしてきました。また、奈良時代には貴族の生活に香りが取り入れられ、室内や衣服にお香を焚く薫物が流行しました。薫物は、練香という芳香剤で、調合具合によって微妙に香りが異なります。平安時代になると、二種類の薫物を調合し、その香りを聞き分けて優劣を競いあう薫物合という遊びへと発展します。

香りを楽しむ風習は、室町時代に「香道」

として体系化されます。香道は、一定のルールと作法のもと、静寂のなかで香りを聞き分け楽しむもので、香りの鑑賞を主眼とする「聞香」と、和歌や古典文学を主題として香りの異同を当てる「組香」があります。特に組香は幅広い文学の教養とイメージ力が求められ、ゲーム性をともなう雅な遊びです。香道の洗練された美意識と遊び心に日本人の感性がいきづいています。

(滝沢幸恵)

「さわる 五感の挑戦 PART IV」関連イベント

・博物館トーク

平成21年 9 月20日（日）

午後2時～3時

「山林修行と第六感」

当館学芸員 滝沢幸恵

博物館講座室 申し込み不要

先着120名 聴講無料

・演奏会

平成21年 9 月27日（日）

午前10時30分～11時30分

和太鼓演奏会

「心に響くふるさとの音」

演奏 郷土サークル野火

博物館3階横広場

申し込み不要 無料

・講演会＆ワークショップ

平成21年10月4日（日）

講演「さわる文化への招待

ー五感で拓く新たな日本史」

午後1時30分～2時30分

ワークショップ

「手学问のすゝめ

ー“みる”力と“みる”心を
育てるために」

午後3時～4時

講師 国立民族学博物館

民族文化研究部准教授

広瀬浩二郎氏

※講演会は申し込み不要 ワークショップは申し込み要 定員15名

はがき、またはファクスに希望時間、住所、名前、年齢、電話番号を書いて博物館へ
多数抽選 9月19日（金）必着



和太鼓演奏会

平成21年度文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業 北摂戦国探検隊

講演会

10月24日（土）

午後1時～2時30分

「吹田城を探る」

吹田市立博物館 学芸員 池田直子

開催場所 吹田市立博物館

申込受付 吹田市立博物館

定員120名 多数抽選 締切10月14日（水）必着

10月31日（土）

午後2時～3時30分

「北摂の戦国時代と高山右近」

高槻市立しろあと歴史館 学芸員 中西裕樹氏

開催場所 高槻市教育会館

（高槻市立しろあと歴史館となり）

申込受付 高槻市立しろあと歴史館

定員150名 多数抽選 締切10月21日（水）必着

シンポジウム

10月17日（土）

午後1時～4時

市民シンポジウム「北摂戦国探検隊」

池田郷土史学会・吹田郷土史研究会・

NPO法人高槻市文化財スタッフの会

基調報告 日本学術振興会特別研究員

天野忠幸氏

コーディネーター 大山崎町歴史資料館学芸員

福島克彦氏

開催場所 高槻市教育会館

申込受付 高槻市立しろあと歴史館

定員150名 多数抽選 締切10月7日（水）必着

歴史ウォーク「戦国の城跡をめぐる」

11月7日(土)

午後1時～4時

原田城跡・今西家住宅

講師：豊中市教育委員会 地域教育振興課
主査 橘田正徳氏

集合：午後1時 阪急曽根駅前

申込受付 吹田市立博物館

定員50名 多数抽選 締切10月28日(水)必着

11月21日(土)

午後1時～3時

有岡城跡と伊丹郷町

講師：伊丹市教育委員会 社会教育課
主査 中畔明日香氏

伊丹城解説員

集合：午後1時 JR伊丹駅前

申込受付 吹田市立博物館

定員50名 多数抽選 締切11月11日(水)必着

11月28日(土)

午後1時～4時

山崎合戦を歩く

講師：高槻市立しろあと歴史館学芸員
中西裕樹氏

大山崎町歴史資料館学芸員 福島克彦氏

参加費：入館料が必要です

集合：午後1時 JR島本駅前

申込受付 高槻市立しろあと歴史館

定員50名 多数抽選 締切11月11日(水)必着



展示解説ツアー

11月8日(日)

展示解説ツアー

吹田と高槻の展示会場の間を、無料シャトルバスが巡回します。各会場とも、展示解説つき。

バス運行

吹田市立博物館発

1) 10:00 3) 13:00 5) 15:30

高槻市立しろあと歴史館発

2) 11:00 4) 14:20

申込受付 はがきかFAXで利用者(1名)の住所、氏名、電話番号、乗車希望番号を書いて吹田市立博物館へ

定員1台あたり25名 (多数抽選 1枚につき1便のみ記入のこと)

締切10月20日(火)必着

展示解説

吹田市立博物館

9:30～ 12:05～ 15:15～

高槻市立しろあと歴史館

10:55～ 13:55～ 16:25～

イベントの申込方法／問い合わせ

高槻市立しろあと歴史館

〒569-0075 高槻市城内町1-7

TEL072-673-3987 FAX072-673-3984

はがきかFAXで参加者住所・氏名・電話番号を書いて申込

吹田市立博物館

〒564-0001 吹田市岸部北4-10-1

TEL06-6338-5500 FAX06-6338-9886

はがきかFAXで参加者住所・氏名・電話番号を書いて申込



秋季特別展「北摂の戦国時代」の催し物

オープニングイベント

申込不要

10月10日(土)

午前11時～ 稲富流古式砲術実演
午後1時～ ワークショップ鉄砲教室・
記念映画映写会
午後2時～
講演「鉄砲伝来がもたらしたハイテク」
大阪城鉄砲隊代表 澤田平氏
場所／博物館横広場、午後は講座室 定員120名

講演会

申込不要

10月11日(日) 午後2時～3時30分

「北摂国人、戦国期の転回」

武庫川女子大学講師 古野貢氏

11月14日(土) 午後2時～3時30分

「吹田村の成立ーいまに残る戦国のくらしー」

関西大学なにわ大阪文化遺産学研究センター
研究員 石本倫子氏

11月15日(日) 午後2時～3時30分

「信長の乳母養徳院とその子孫」

京都橘大学学長 田端泰子氏

場所／いずれも博物館講座室 定員120名

歴史講座

申込不要

10月12日(月・祝) 午後2時～3時30分

「吹田砂堆をめぐる考古学ー集落遺跡の展開ー」

当館学芸員 高橋真希

10月31日(土) 午後2時～3時30分

「戦国武将と茶の湯」 当館学芸員 滝沢幸恵

場所／いずれも博物館講座室 定員120名

博物館トーク

申込不要

10月18日(日) 午後2時～3時

「北摂の戦国期城郭」 当館嘱託 堀口健次

11月3日(火・祝) 午後2時～3時

「中世村落の景観を探る」

当館学芸員 高橋真希

11月29日(日) 午後2時～3時

「城の瓦」 当館学芸員 藤原 学

場所／いずれも博物館講座室 定員120名

古文書入門講座(全4回)

午前10時30分～12時 当館学芸員 池田直子

10月18日(日) 「高山右近文書を読み解く」

11月1日(日) 「細川氏文書を読み解く」

11月15日(日) 「足利義昭文書を読み解く」

11月29日(日) 「織田信長文書を読み解く」

場所／博物館講座室

定員／120名 4回とも出席できる方 多数抽選

申込受付 吹田市立博物館

締切／10月8日(木) 必着

親子体験講座

11月22日(日)・11月23日(月・祝)

午後2時～4時

かぶとを作ろう！

高槻市立しろあと歴史館 学芸員 千田康治氏

場所／博物館講座室

定員20組 講座両日とも参加できる方

多数抽選

申込受付 吹田市立博物館

締切／11月12日(木) 必着

甲・陣羽織試着体験

会期中の土・日・祝日 午前10時～午後3時

甲や陣羽織の試着が体験できます。

すいた再見ウォーク

10月24日(土) 午後2時30分～4時

講演会「北摂の戦国時代における吹田氏」

吹田郷土史研究会顧問 加賀真砂子氏

場所／博物館講座室

10月25日(日) 午後1時～4時

現地見学会「吹田城を探検」

集合：午後1時 泉殿宮

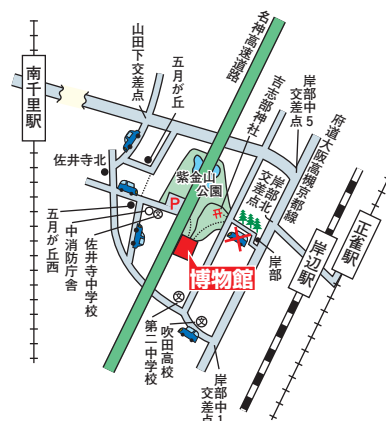
定員／120名(多数抽選)

両日または一方の参加日を書いて申込

申込受付 吹田市立博物館

締切／10月14日(水) 必着

交通案内



●開館時間
午前9時30分～午後5時15分
●休館日
月曜日、祝日の翌日
12月29日～1月3日
<http://www.suita.ed.jp/hak/>

吹田市立博物館だより 第39号
平成21年(2009年) 9月1日発行
吹田市立博物館
〒564-0001
吹田市岸部北4丁目10番1号
TEL.06 (6338) 5500
FAX.06 (6338) 9886